

講演「新しい働き方と女性活躍」～コロナが変えた価値観と働き方～ 要約
講師 健康社会学者 河合薫氏

私たち人間は、どんな環境に身を置くかで大きく変わります。「健康社会学」は、個人だけではなく環境に注目する学問です。人も環境要因の一つです。人は環境で変わる。働き方は社長で変わる。部下は上司で変わる。個人を取り囲む環境との関わり方によって、幸福感、職務満足感、強さ、あるいはしなやかさ。喜びも怒りも、すべて変わってきます。これは、みなさんが周りの人を変えることができるということでもあります。

ウイズコロナで、リモートやDX^{※1}を取り入れて「変わっていかなくちゃ」と前を向く今だからこそ基本に戻ることが必要です。働き方改革の推進、セクハラ、パワハラをなくそう。離職率を下げ生産性を上げよう。残業削減、能力発揮、そして女性活躍を進めようと、多くの会社、チーム、組織が動いてきました。しかしなかなか進まない。なぜなら、みなさん木ばかりを見て森を見ていないからです。会社というのは森です。森をつくる一人ひとりがいきいきと働ける職場を用意することが大切です。

リモートだと「ねえねえ、ちょっとちょっと」という気軽なやりとりができません。ですから、これから私たちがすべきことは、人と人とのつながりに投資することです。

仕事は、人生を豊かにする最高の手段です。仕事と家庭と健康、この3つの幸せのボールをジャグリングのように回し続ける働き方が必要です。在宅勤務で多くの人が家庭に目を向けるようになりました。育児・料理・家事に男性も参加するようになりました。あるいはコロナに感染しないために、健康に気を使うようになりました。あるいはウイズコロナで趣味の時間ができた人もいます。通勤や出張の時間が減った分、家でゆっくり過ごすことができ体が元気になった。まさに、家族、趣味、休息。これが「元気になる力」です。

ストレスというマイナスの力に引っ張られると、健康破綻に陥ります。ストレスという「人生の雨」が降ってきた時に、力を引き出してくれるのが「元気になる力」の傘です。たくさんの傘がありますが何より必要なのは、「傘を貸してください」と言える人間関係です。人間は「最後はあの人の傘を借りることができる」と思うと踏ん張ることができます。

私は新卒でANAのステューデスになりました。JALに追いつき追い越せと頑張る先輩たちに出会い、今の自分があります。まさに環境で変わった一人です。働くことの9割は苦しいけれども、1割の楽しい太陽が出た時の光が私をここまで連れてきています。

人生で必要なことは幼稚園で習ったというのが私の持論です。挨拶と「ありがとう」、「ごめんなさい」を言いましょう。そして無駄を大切にしてください。無駄話で心の距離感がグッと縮まることがあります。何よりつながりに投資するという気持ちを忘れないことが、まさに今日のテーマである「新しい働き方」、「新しい豊かな働き方」につながっていくはずです。

※1 DX：デジタルトランスフォーメーション

・・・「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念